

公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区大手町11番4号

2 設立年月日

平成2年10月20日（平成25年4月1日 公益財団法人化）

3 代表者

理事長 堀内 光子

4 基本財産

329,346千円

5 北九州市の出捐金

300,000千円（出捐の割合 91.1%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9人	0人	1人	8人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	8人	0人	0人	8人
職 員	27人	5人	0人	22人

7 市からのミッション

- ① 日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄与する。
- ② 団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が活躍できる経済社会の実現など、本市における男女共同参画社会の形成の推進に寄与する。

II 令和3年度事業実績

《公益I事業：日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業》

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、積極的にオンラインを活用する等により重要事業の継続的实施を図った。

調査・研究事業として、1組の客員研究員研究を選考するとともに、研究報告会を2回オンラインで実施した。アジアジェンダー研究者ネットワーク活動として、共同研究図書『変容するアジアの家族』の出版にまで至った。

交流・研修事業としては、「ICTと女性」をテーマに「アジア女性会議－北九州」を開催し、情報化時代における女性のエンパワーメントについて討議した。

また、国際研修事業として、開発途上国向けの「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修をオンラインで2回実施するとともに、初の国別研修として「ブータン・女性と子どもの保護とケア(A)」を実施した。

第66回国連女性の地位委員会(CSW66)は、会議へのオンライン参加とともに、NGOフォーラムでKFAWもパラレルイベントとして「気候変動、防災・減災とジェンダー平等」をテーマに、日本を含むアジア諸国のユースの取り組み発表を行った。

【調査・研究事業】

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を公開し、研究者、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動を活発化させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

1 客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業については、客員研究員への委託により時宜に適したテーマによる調査研究を実施した。令和3年度は、1組の客員研究員研究を選考した(調査期間：令和3年度～令和4年度)。

ア R3/R4年度 KFAW客員研究員と研究テーマ

- (ア) 新型コロナウイルスが障害女性の日常に及ぼす影響：バングラデシュを事例として
上智大学アジア文化研究所客員所員 金澤真実

イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

- ・ 『アジア女性研究』第31号 500部
- ・ 『KFAW 調査研究報告書』 100部

2021-1 離婚過程の女性が抱える課題と支援ニーズ－シングルマザー・プレシング
ルマザーのインタビュー調査から

ウ 研究報告会の開催

研究報告会を開催して、研究成果を市民、研究者に発信した。

(ア) 第33回 KFAW 研究報告会(オンライン配信及び会場視聴)

- ① 日時 令和3年10月2日(土) 14:00～15:15
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 報告内容、報告者

「地方自治体におけるパートナーシップ制度の現状と課題」

鹿児島大学法文学部教授 原田いづみ

(イ) 第34回 KFAW 研究報告会(オンライン配信及び会場視聴)

- ① 日時 令和4年3月12日(土) 14:00～15:15
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 報告内容、報告者

「離婚過程の女性が抱える課題と支援ニーズ - シングルマザー・プレシングルマザーのインタビュー調査から」

昭和女子大学女性文化研究所特別研究員 宮坂順子

2 KFAW アジア研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を対象とする研究の成果について、市民を含む多くの人々と共有するため、セミナーを開催するとともに KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

(ア) 令和3年度第1回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「スポーツ界から発信するジェンダー平等～オリンピック開催国から世界へのメッセージ～」
- ② 日時 令和3年10月24日(土) 14:00～16:15
- ③ 場所 北九州国際会議場・メインホール
- ④ 講師 国際オリンピック委員会・女性スポーツ委員会委員長
リディア・セケラ 氏
- ⑤ 参加者 180名
- ⑥ 内容 北九州市で開催された世界体操・新体操選手権の開催を記念して、国際体操連盟、北九州市と、国際オリンピック委員会・女性スポーツ委員会委員長のジェンダー平等に関する講演会を共催した。男女平等は、男性と女性がチームワークを組んで、共通の目標を持って推進しなければならないとの力強いメッセージが発信された。

イ アジアジェンダー研究者による共同研究

九州地域内のジェンダー研究者のネットワーク活動によって、「変容するアジアの家族」をテーマに共同研究、研究図書出版に向け共同執筆を行うことを目的に、アジアジェンダー研究者ネットワーク会議を開催した。共同研究図書『変容するアジアの家族』(令和4年3月刊行)の出版に向けて、海外通信員のコラム掲載などに取り組んだ。

ウ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、男女共同参画や女性活躍の視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内3大学で8回オンライン方式やオンデマンド方式で講義を行った。

【交流・研修事業】

「第32回アジア女性会議 - 北九州」と NGO CSW66 パラレルイベント「Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality」(若者による討議: 気候正義、防災、そ

してジェンダー平等への行動。使用言語英語のみ)を開催した。

1 「アジア女性会議－北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議－北九州

「ICTと女性」をテーマに、アジア女性会議－北九州を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年に引き続きオンラインで実施した。国立女性教育会館(NWEC)理事長の内海房子氏と明治大学公共政策大学院教授で当財団理事でもある湯浅壘道氏から「ICT分野の人材育成、ICTが日常生活に及ぼす影響、情報セキュリティ問題」をテーマにご対談いただいたほか、地元企業の(株)ソルネット DXセンター長の西野幸氏による「誰もが働きやすい職場実現」の取り組み紹介の後、3組の個人・NGOによる活動事例発表を行った。

(ア) 国際シンポジウム『第32回アジア女性会議－北九州』の開催

- ① 日時 令和3年11月5日(金) 13:30～15:30
- ② 場所 オンライン配信(Zoom)
(視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
- ③ 参加者 83名(オンライン77名、会場6名)
- ④ 専門家対談 内海房子(独立行政法人 国立女性教育会館(NWEC)理事長)
湯浅壘道(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授)
- ⑤ 企業の取り組み 西野幸((株)ソルネット DXセンター長)
- ⑥ 活動事例発表 白井久実子(DPI女性障害者ネットワーク 役員)
ニシャット・タスリン・モハナ(KFAW 第31期海外通信員)
ディナ・ルンバントーピング(プルマンブ・コンソーシアム 共同設立者 兼
コーディネーター)
- ⑦ 総括 堀内光子(KFAW 理事長)
- ⑧ 事後配信 YouTube 配信 令和4年1月中旬より1ヶ月程度
- ⑨ 報告書の作成

イ 国際理解促進事業

在福岡米国領事館の広報担当領事、ユキ・近藤・シャー氏を招き、バイデン政権の優先課題である「米国社会を反映した多様性に富む政府の実現(統計資料を使って説明)」の重要性と、誰もが活躍できる職場や社会の構築に必要なことについて、広く市民に知ってもらうためのセミナーを開催した。

また、令和4年3月に開催された第66回国連女性の地位委員会(CSW66)では、昨年度に引き続きNGOフォーラムにて主催のイベントを開催した。内容は防災・減災とジェンダー平等について、アジア諸国・日本の若者による討論会を実施した。

(ア) 第65回国連女性の地位委員会(CSW65) 報告会

- ① 報告内容
1) CSW65について

<優先テーマ>

「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成のために、公的生活における完全かつ効果的な参加と意思決定及び暴力撤廃」

<レビューテーマ>

「女性のエンパワーメント及び持続可能な開発とのリンク」

2) NGO CSW65 フォーラム パラレルイベントについて

<テーマ>

「Youth talk: climate action and gender」

② 日時 令和3年6月16日(水) 14:00~15:30

③ 場所 オンライン配信 (Zoom)

④ 報告者 (優先テーマ、レビューテーマの会議概要報告)

堀内 光子 (KFAW 理事長)

⑤ ユース発表者 (パラレルイベント「Youth talk: climate action and gender」の報告)

村井 夏輝 (慶応義塾大学学生、JYPS 事務局員)

永田 理乃 (マンチェスター大学大学院学生)

⑥ 参加者 54名

⑦ 事後配信 YouTube 配信 令和3年6月中旬より1ヶ月程度

(イ) 国際理解セミナー「女性のエンパワーメント ～多文化共生の視点から～」(北九州市立男女共同参画センター・ムーブとの共同実施)

① 日時 令和3年9月4日(土) 14:00~16:00

② 場所 オンライン配信 (Zoom)

③ 講師 ユキ・近藤・シャー (在福岡米国領事館 広報担当領事 兼福岡アメリカン・センター 館長)

④ 対談 甲木 正子 (西日本新聞社 執行役員北九州本社代表 兼営業部長)

⑤ 参加者 68名

⑥ 事後配信 YouTube 配信 令和3年9月上旬より1ヶ月程度

⑦ 主催 KFAW / 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

(ウ) 第66回国連女性の地位委員会 (CSW66) NGO フォーラム パラレルイベント

(使用言語は英語)

① テーマ Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality (若者による討論: 気候正義、防災、そしてジェンダー平等への行動)

② 日時 令和4年3月17日(木) 17:00~18:30

③ 場所 オンライン配信 (Zoom)

④ 参加者 38名

⑤ 基調講演 加藤 尊秋 (北九州市立大学国際環境工学部 教授)

⑥ 北九州市および市民団体の取り組み紹介

大村 昭子 (北九州市危機管理室危機管理課 防災連携担当係長)

⑦ ユース発表者

リナ・スルヤニ・オクタリ（シヤ・クアラ大学（インドネシア）医学部 助教授）
ファヒム・イスマイル（スリジャヤファルダナプラ大学（スリランカ）工学部
学生、Helping Wings 創業者）

森 友里歌（北九州市立大学大学院国際環境工学研究科 博士課程学生、NPO 北
九州ビオトープ・ネットワーク研究会）

⑧ モデレーター 堀内 光子（KFAW 理事長）

⑨ 事後配信 YouTube 配信 令和4年3月下旬より1ヶ月程度

ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

高校生が将来に向けて自己実現や男女共同参画を考えるためのセミナーを実施した。

(ア) 高校生キャリア形成プログラム

北九州ひとみらいプレイス若者支援事業「考えよう、あなたの未来 ～働き方、暮らし方～」
(北九州ひとみらいプレイスとの共同実施)

① 内容

<第1部> 「働き方、暮らし方」を考える課題研究の発表

<第2部> 「大切にしよう、自分のこと。」(講話)

② 日時 令和3年8月8日(日) 14:00~15:15

③ 場所 オンライン配信 (Zoom)

④ 発表者 (第1部) 砂川 史佳 (福岡県立東筑高校3年)

⑤ 講師 (第2部) 黒瀬まり子 (臨床心理士)

⑥ 参加者 57名 (公募)

2 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、目標5(ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)を主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し情報共有を図るため、フォーラムの活動内容をホームページで紹介した。また、主に若い世代に向けた新たな情報発信ツールとして昨年度末に開設したTwitterとInstagramの運営を開始した。

3 海外派遣

今年度に関しては、コロナ禍のため国連から事前の参加登録・参加資格付与の義務がなくなったため、関係者への参加案内に留まった。なお、本会合は、対面とオンラインのハイブリット形式で行われた。

【情報収集・発信事業】

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook や海外通信員などを活用しながら、アジア地域の女性に関する情報収集・発信やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

1 情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』（日本語・英語版）を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『令和 2 年（2020）年度 年報』を発行した。

2 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うため、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をレポートした。通信員から提出されたりレポートは、『Asian Breeze』やホームページ、Facebook などに掲載した。

- (ア) 人数 3 カ国 3 名（バングラデシュ、フィリピン、インド）
- (イ) 任期 令和 3 年 7 月～令和 4 年 3 月
- (ウ) レポート回数等 レポート：1 回
国際会議での発表（アジア女性会議）

【国際研修事業：JICA 研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2021】

開発途上国における女性のエンパワーメントやジェンダー平等の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成する国際研修を独立行政法人国際協力機構九州センター（JICA 九州）から 2 回受託し、オンラインで「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修として実施した。また要望を受け、ブータン国内の女性や子どもの保護とケアの担当保護官向けの「ブータン・女性と子どもの保護とケア（A）」研修もオンラインで 1 回実施した。

ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021（A）>

- (ア) 期間 令和 3 年 5 月 26 日（火）～6 月 21 日（月）
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 5 カ国 7 名（モルドバ、パレスチナ、パプアニューギニア、エジプト、ソロモン）

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021（B）>

- (ア) 期間 令和 3 年 11 月 9 日（火）～12 月 6 日（月）
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 3 カ国 6 名（マラウイ、ブータン、カンボジア）

<ブータン国別研修・女性と子どもの保護とケア（A）>

- (ア) 期間 令和 4 年 1 月 14 日（金）～2 月 11 日（金）
- (イ) 場所 オンライン

- (ウ) 研修員 全国 24 県・市のジェンダー・子ども・フォーカルポイント（女性と子どもの保護とケアを担当する保護官）と CSO や NGO 担当者および警察官 32 名

イ 市民交流会の開催

市民である北九州市立大学法学部政策科学科学生と市民交流会を開催し、学生による発表と研修員との意見交換を 2 回実施した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021 (A) >

- (ア) 日時 令和 3 年 6 月 5 日(土) 16:00~17:30
(イ) 場所 オンライン
(ウ) 参加者 23 名

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021 (B) >

- (ア) 日時 令和 3 年 12 月 3 日(金) 15:00~16:30
(イ) 場所 オンライン
(ウ) 参加者 17 名

【大学生・高校生による体験学習等の受入】

- ア 福岡県立小倉高等学校（オンライン校外学習）
時 期：令和 3 年 9 月 14 日（火）9:00~12:00
参加者：小倉高等学校第 1 学年 生徒 31 名
内 容：SDGs とジェンダー平等、フォーラム、ムーブの取組み
- イ 青山学院大学「地域実習」
時 期：令和 3 年 11 月 4 日（火）～7 日（日）
参加者：青山学院大学コミュニティ人間学部 3 年生 2 名
他オンライン参加 1 名
指導者：青山学院大学地域実習担当教官
大島 まな先生（九州女子大学人間科学部教授）
内 容：フォーラム・ムーブの事業と実習
- ウ 奈良県立国際高等学校スタディツアー（ムーブ来所）
時 期：令和 4 年 1 月 11 日（火）12:30~16:00
参加者：奈良県立国際高等学校第 2 学年
「グローバルが生み出す力」をテーマに探求している生徒 27 名
内 容：女性のエンパワーメントと男女共同参画の現状や課題について

【企業等への講師派遣】

- ア 株式会社高田工業所幹部職員研修
時 期：令和 4 年 3 月 29 日（水）15:45~17:00
参加者：幹部職員 51 名
講 師：(公財) アジア女性交流・研究フォーラム専務理事 江副春之
(北九州市男女共同参画センター所長)
内 容：ジェンダー問題研修

《公益Ⅱ事業：男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業》

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成18年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営等を指定管理者として行っている。令和3年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設として各種事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染防止拡大への対応として、令和3年5月12日から6月20日、8月10日から9月30日まで、臨時休館とすることとなったが、開館時は感染防止策を充分とったうえで各種事業を行った。

【指定管理事業】

1 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAWで開発したキャリア形成プログラムを、KFAWの成果を活かして、平成28年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画事業（9事業、参加延人数1,419名）

(ア) 男女共同参画講座（4事業、参加延人数1,152名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

① 男女共同参画啓発講座

(a) 「エンパワーメントの旅～わたしの仕事と子育て～」【オンライン形式】

講師：大崎 麻子（元国連開発計画（UNDP）職員／ジェンダー・スペシャリスト）

(b) ムーブ映画祭～人生の主人公は自分自身！～

映画『サニー 永遠の仲間たち』

上映会&小倉昭和館 館主 樋口 智巳さんによるトーク会

(c) 出前講座（門司生涯学習センター大里分館）

「中島俊介先生の心理学講座～人権文化は多様性と対話の理解から～」

講師：中島 俊介（西南女学院大学 教授・北九州市立大学 名誉教授）

(d) 出前講座（八幡東生涯学習センター尾倉分館）

「自分らしさを磨く 心も伝わる声と話し方～より豊かなコミュニケーションのために～」

講師：藤重 知子（ボイスエアー代表、声と話し方コンサルタント） ほか

② おとこのライフセミナー

「生きる力ーワーク・ライフ・バランスと働き方改革ー」

講師：笠井 信輔

（フリーキャスター、元フジテレビ『とくダネ!』メインアシスタント）

③ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

「考えよう、あなたの未来 ～働き方、暮らし方～」（KFAW 共催事業・再掲）

第1部「働き方、暮らし方」を考える課題研究発表

発表者：砂川 史佳（福岡県立東筑高校3年）

第2部「大切にしよう、自分のこと。」

講師：黒瀬 まり子（臨床心理士）

④ 語学講座（英会話）

(イ) 生活技術講座（5事業、参加延人数 267名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

① 男性向け講座（エプロン男子、父と子の食育講座、介護男子）、おとこの魅力アップシリーズ（育児男子、時短料理男子、出前講座「メンズご飯!」、出前講座「男のたしなみ～コーヒー編～」ほか）

② 親子木工教室

イ 女性のエンパワーメント事業（10事業、参加延人数 3,780名）

女性の継続的な就業やキャリアアップのための支援を行うとともに、企業、地域等様々な分野での意思決定過程への女性の参画を進めるため、指導的な地位へ成長していく層の育成支援を行った。

(ア) 働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成

①働く女性のためのフォローアップセミナー

(a) 「女性のエンパワーメント～多文化共生の視点から～」(KFAW との共同主催・再掲)

講師：ユキ・近藤・シャー

(在福岡米国領事館 広報担当領事 兼福岡アメリカン・センター館長)

甲木 正子（西日本新聞社 執行役員 北九州本社代表 兼 営業部長）

(b) 「相手の心をつかむ言葉の力。」

講師：ひきた よしあき

(博報堂スピーチライター・コラムニスト・コミュニケーションコンサルタント)

②ムーブカフェ

実施回数：2回

講師：初村 清香（西部ガスホールディングス株式会社 人財戦略部

キャリア開発マネジャー）

重松 由貴子（福岡銀行 北九州市庁内支店長）

(イ) 働く女性に贈る！お役立ちワンポイントセミナー

(ウ) キャリア形成プログラム（再掲）

①九州国際大学

実施回数：5回【うちオンラインによる登壇2回】

講師：大島 まな（九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター 所長）

仙波 亮一（京都橘大学 経営学部 准教授）

山脇 直祐（日本経済大学 経済学部経済学科 講師）

②九州女子大学

実施回数：1回

講師：湯浅 壱道（明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授）

③九州共立大学

実施回数：2回【オンデマンドによる講義】

講師：松本 幸一（九州国際大学 法学部 教授）

山脇 直祐（日本経済大学 経済学部経済学科 講師）

④西南女学院大学

実施回数：一回

（※新型コロナウイルス感染症対策による休講に伴い日程の確保が難しいため中止）

(エ) 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）

(オ) パソコン講座

ほか

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業（4事業、参加延人数 3,646名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で、維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座

「ジェンダーから考える男子の性教育～相手を尊重する意識を育もう！～」

講師：龍崎 翼（開成中学校・高等学校、海城中学高等学校 家庭科講師）

(イ) 健康講座

①心も身体もリフレッシュ！シェイプアップヨガ

②冷えにさよなら！リラックスヨガ

(ウ) いまどきママのリフレッシュ講座

(エ) フィットネスルームの個人利用

エ 市民活動支援・連携事業（3事業、参加延人数 421名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) ムーブ学生活動プロジェクト（北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習）

(イ) ムーブサポーター事業

(ウ) 人権を考える企業のつどい

※新型コロナウイルス感染症対策のため、ファミリークリスマス in 北九州は中止

オ ムーブフェスタ 2021

全体のテーマが「翔ぶ」、キャッチコピーは「新たな世界へ翔びだそう」とし、市民の自主的な

研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間 令和3年7月3日(土)～7月24日(土)

参加延人数 29,088人(うち男性 7,269人)

(7) 主催事業(5事業)

① オープニングイベント 講演会

「自分らしさとは何か～自然体で生きるということ～」

講師：近藤 サト(フリーアナウンサー、日本大学芸術学部 特任教授)

② イベントステージ

「アジアの風を感じて～馬頭琴・二胡・箏コンサート」

モンゴルの馬頭琴、中国の二胡、日本の箏などアジアの伝統的な楽器の音色に親しむコンサート

③ 行列のできる！？法律相談Q&A

④ 第23回ジェンダー問題調査・研究報告会 ※講師の都合により中止

⑤ マガジンリサイクル

(1) 市民企画事業

総事業数 89事業

(イベント54事業、サマーカーニバル10事業、フリーマーケット25事業)

カ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害、就労や法律に関する相談等について、相談室相談員をはじめ臨床心理士、キャリアコンサルタント、弁護士がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、離婚に関する男女の法律基礎講座、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した特別講座、福岡県弁護士会北九州部会との共催によるホットライン事業等を実施した。

(7) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談(就労)・男性のための電話相談・女性のための無料法律相談等

区 分	電話相談件数	面接・メール相談件数	合 計	
こころと生き方一般相談	3,058件	23件・2件	3,083件	3,548件
人権侵害相談	140件	—	140件	
コロナ禍電話相談	2件	—	2件	
女性の法律相談	16件	71件	87件	
女性のための 元気アップ相談	118件	40件	158件	
男性電話相談	78件	—	78件	

(1) 講座(4講座、参加延人数61名)

① 女性のための離婚に関する法律基礎講座

② 男性のための離婚に関する法律基礎講座

- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座 『サバイバーが語る性暴力』
- ④ 女性のためのグループワーク 『ストレスケア』
- (ウ) ホットライン（相談件数 21 件）

福岡県弁護士会北九州部会との共催で弁護士、配偶者暴力相談支援センター相談員が女性の人権侵害等に関する相談に電話で応じた。

 - ・女性の権利ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
 - ・女性への暴力ゼロ！ホットライン【内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」事業】
- (エ) その他啓発
 - ① パネル展示「ワリかん！？ワリとかんたん！？男と女のいい関係」
 - ② パネル展示「大切にしよう、自分のこと」
 - ③ 「女性に対する暴力をなくす」運動街頭啓発キャンペーン（小倉駅前広場）

キ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

(a) 蔵書数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

図書 56,621 冊、雑誌 5,125 冊、DVD114 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、図書統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）

貸出冊数 32,214 冊、貸出者数 11,843 人

(b) 親子を対象に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の開催 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数 64 件（令和 4 年 3 月 31 日現在）

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・Facebook

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

・ホームページ、Facebook アクセス件数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
ホームページ 222,185件 Facebook 15,311件

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月1回配信した。

・ムーブメール登録者数 376人（令和4年3月31日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題 調査・研究支援事業

(a) 令和3/4年度ジェンダー問題 調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査・研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部（第1年度 上限30万円/第2年度 上限20万円）を助成。令和3年度は基礎調査（インタビュー調査）を行う支援をした。研究成果として、令和5年2月に調査・研究の結果をまとめた報告書を発行する予定である。

・テーマ：「女性管理職のキャリア形成 － 一皮むけた経験を探る －」

・研究者：徳永彩子（熊本学園大学 准教授）・所 吉彦（岐阜協立大学 教授）

(b) 第24回ジェンダー問題 調査・研究報告会（中止）

令和2年度の支援対象となった研究者がムーブフェスタ期間中に調査・研究の結果を報告する予定であったが、研究者の都合により中止となった。

・テーマ：「女性研究者の研究と育児の両立における葛藤と課題：福岡県内の大学を対象として」

② ジェンダーに関する啓発冊子の発行事業

(a) 『未来をひらくあなたに』発行

若者世代に向けた、男女共同参画社会の課題解決について考察する一助となる冊子を発行した。

・発行部数 5000部

・体裁等 A5判

(b) 『北九州市の男女共同参画統計データ集2020』のデータの一部をホームページに掲載し、随時更新した。

③ 男女共同参画に関する啓発事業

ムーブが発行した啓発冊子の活用と広報をテーマとした講演会や研修会を実施した。

(a) 講演会「必要とされているあなたの力 ～中高年のあなたに～」（参加人数 54人）

(b) 講演会「統計データから見る北九州市の男女共同参画

～『北九州市の男女共同参画統計データ集2020』をもとに～

（オンライン視聴参加人数 28人）

(c) 高校生、大学生の体験学習（再掲）

- ・ 福岡県立小倉高等学校（オンライン校外学習）
時 期：令和3年9月14日（火）9:00～12:00
参加者：小倉高等学校第1学年 生徒31名
内 容：SDGs とジェンダー平等、フォーラム、ムーブの取組み

- ・ 青山学院大学「地域実習」
時 期：令和3年11月4日（火）～7日（日）
参加者：青山学院大学コミュニティ人間学部3年生 2名
他オンライン参加1名
指導者：青山学院大学地域実習担当教官
大島 まな先生（九州女子大学人間科学部教授）
内 容：フォーラム・ムーブの事業と実習

- ・ 奈良県立国際高等学校スタディツアー（ムーブ来所）
時 期：令和4年1月11日（火）12:30～16:00
参加者：奈良県立国際高等学校第2学年
「グローバルが生み出す力」をテーマに探求している生徒27名
内 容：女性のエンパワーメントと男女共同参画の現状や課題について

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

- (a) 発行日 94号 令和3年6月10日
 95号 令和3年10月10日
 96号 令和4年2月28日
- (b) 発行部数 各号6,500部

ク 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面や新型コロナウイルス感染症対策にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

また和室や茶室の内装工事（障子張替えや鴨居の補修等）など、施設利用における環境整備に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策としては、受付への飛沫防止シートの設置や1階におけるサーモカメラによる来場者への検温、及び各フロアへの消毒薬の設置などを実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

- ・ 令和3年度貸室利用人数 70,205人

≪参考：総利用者数 134,274人（うち主催事業参加延人数 64,069人）≫

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 1件、延人数 6人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 15件、延人数 1,579人（うち3件 86人 ハラスメント出前講座）

【自主事業】

1 男女共同参画センター自主事業

ア 男女共同参画講座（英会話）

イ 就業支援講座（医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等）

ウ 生活技術講座（夏休み親子木工教室）

エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（シェイプアップヨガ 等）

《その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業》

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

《その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業》

北九州市立男女共同参画センターにおいて指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

《法人事業》

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護、職場における人権についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行うとともに、フォーラム賛助会員への加入促進を行った。

1 理事会・評議員会の開催

2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

3 賛助会員加入の促進

III 令和3年度決算

1 貸借対照表(内訳表)

令和4年3月31日現在(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産	45,228,630	5,111,406	6,663,548	0	57,003,584
流動資産合計	45,228,630	5,111,406	6,663,548	0	57,003,584
2. 固定資産					
(1) 基本財産	164,672,887	0	164,672,886	0	329,345,773
基本財産合計	164,672,887	0	164,672,886	0	329,345,773
(2) その他固定資産	915,042	0	245,000	0	1,160,042
その他固定資産合計	915,042	0	245,000	0	1,160,042
固定資産合計	165,587,929	0	164,917,886	0	330,505,815
資産合計	210,816,559	5,111,406	171,581,434	0	387,509,399
II 負債の部					
1. 流動負債	19,849,826	5,111,406	186,664	0	25,147,896
流動負債合計	19,849,826	5,111,406	186,664	0	25,147,896
負債合計	19,849,826	5,111,406	186,664	0	25,147,896
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	161,583,048	0	161,583,047	0	323,166,095
指定正味財産合計	161,583,048	0	161,583,047	0	323,166,095
(うち基本財産への充当額)	161,583,048	0	161,583,047	0	323,166,095
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	29,383,685	0	9,811,723	0	39,195,408
(うち基本財産への充当額)	3,089,839	0	3,089,839	0	6,179,678
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
正味財産合計	190,966,733	0	171,394,770	0	362,361,503
負債及び正味財産合計	210,816,559	5,111,406	171,581,434	0	387,509,399

2 正味財産増減計算書（内訳表）

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			その他の事業会計			法人会計	合 計
	日本及びアジア地域の女性の地位向上支援事業	男女共同参画社会の形成支援事業	小 計	北九州市大手町ビル維持管理事業	男女共同参画センター-公益目的外貸与事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用収益	1,439,883		1,439,883				1,439,883	2,879,766
受取会費	334,000		334,000				334,000	668,000
事業収益	314,751		314,751					314,751
擬管職設自主雑費収益		4,456,472	4,456,472					4,456,472
委託料収益	8,785,757		8,785,757					8,785,757
北九州市委託金収益		168,267,863	168,267,863	37,505,784	60,751,353	98,257,137		266,525,000
受取補助金等	24,848,233		24,848,233				14,151,767	39,000,000
雑収益	166,352	52,200	218,552				1,425	219,977
経常収益計	35,888,976	172,776,535	208,665,511	37,505,784	60,751,353	98,257,137	15,927,075	322,849,723
(2) 経常費用								
事業費用	29,352,972	178,984,651	208,337,623	37,505,784	60,751,353	98,257,137		306,594,760
管理費用	0		0				15,927,075	15,927,075
経常費用計	29,352,972	178,984,651	208,337,623	37,505,784	60,751,353	98,257,137	15,927,075	322,521,835
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	6,536,004	▲6,208,116	327,888	0	0	0	0	327,888

IV 令和4年度事業計画

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、これまで女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成に貢献するため、日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等の事業を実施するとともに、北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者としてさまざまな事業を展開してきた。

令和4年度においても、「第4次北九州市男女共同参画基本計画」（以下「第4次基本計画」という）を踏まえながら、国連が定めた地球規模の行動計画である持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、

- 1 ジェンダー主流化
- 2 就業に関する女性のエンパワーメント（能力構築）
- 3 固定的な男女の役割分担意識の解消
- 4 若い世代の男女共同参画意識の向上

等を重点に、ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施し、北九州市ひいては日本を含むアジア地域の男女共同参画社会の形成を推進する。

【公益I事業】 日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

1 事業概要

日本及び他のアジア地域の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を目的に、これまでの活動を活かし、各分野で多様な人々のニーズを的確に捉え、時宜にかなったテーマを選定して、調査・研究事業、交流・研修事業、情報収集・発信事業、国際研修など国際協力事業を実施する。

2 業務概要

(1) 調査・研究事業

客員研究員研究、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動等によって、調査研究活動を充実させるとともに、プログラム開発、セミナーなどの開催を通じて、北九州市ひいては日本及び他のアジア地域における男女共同参画社会の実現に貢献する。

ア 客員研究員研究

外部の研究者を積極的に活用して客員研究員研究を実施する。SDGs及び第4次基本計画の重点取り組みも踏まえ、国際的な動向や視点から国内の課題を明らかにし、男女共同参画社会の実現に貢献する。

イ 研究成果の広報

(ア) 研究報告会の開催

(イ) 研究誌の刊行

ウ KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

(ア) アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催及びネットワーク活動

(イ) プログラム開発

(2) 交流・研修事業

「アジア女性会議―北九州」や国際セミナー等を開催する。国際的視点からのテーマにより、市民とアジア地域の人々も含め、ジェンダーに関する相互理解を促進するとともに交流を深める。

また、海外のジェンダー関連組織との交流を進め、恒常的なネットワークの形成を目指す。

ア 「アジア女性会議―北九州」等の国際セミナーの開催

(ア) 第33回アジア女性会議―北九州

(イ) 国際理解促進事業

イ 海外拠点ネットワークの形成

海外のジェンダー関連団体や海外通信員等と連携し、目標5（ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント）を中心とする、ジェンダー平等、女性・少女のエンパワーメントに関するSDGs 達成への取り組みについてホームページの掲載やイベント開催を通じ、海外拠点ネットワークの形成を目指す。

(3) 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行による情報発信や、アジア・太平洋地域を中心とした海外通信員からの情報収集、ホームページ等の充実を図る。

ア 情報誌『Asian Breeze』等の発行

KFAW の活動や国内外の男女共同参画に関する情報の提供を通じて、ジェンダー問題に対する理解を促進するため、情報誌『Asian Breeze』を発行するとともに、ホームページの充実を図る。

また、KFAW の活動のPR広報及び記録用として年間事業報告書を作成する。

イ 海外通信員事業

海外に在住するジェンダーに関する専門家・活動家等を対象に、通信員を公募し、自らを取り巻く生活状況や女性・男性の状況、ジェンダー視点も踏まえたSDGs の達成に向けた効果的な取組みなど、時宜にかなったテーマについてレポートしてもらう。

レポートに加え、国際会議（アジア女性会議、CSWパラレルイベント）への参加など、フォーラムにおける事業横断的な関与も奨励する。また、海外広報の在り方を検討する。

提出されたりポートは情報誌『Asian Breeze』のほか、ホームページや財団のSNSにて掲載・周知する。

(4) 国際研修事業

独立行政法人国際協力機構(JICA)九州センターの委託を受け、開発途上国における女性のエンパワーメント向上や男女共同参画社会の実現に係る人材育成に資するため、ジェンダー主流化の立案、推進が可能な行政官を対象に、国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2022」を2回実施する。

また、ブータン国からの要請により JICA 国別研修として「ブータン・女性と子どもの保護とケア (B)」研修を実施予定。

【公益Ⅱ事業】 男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業

○ 指定管理事業

1 事業概要

KFAWは、北九州市立男女共同参画センターの指定管理者として管理運営を行っており、男女共同参画推進の拠点施設として、男女共同参画等の推進、相談、情報事業等を展開していく。

2 業務概要

(1) 男女共同参画等推進事業業務

若い世代や働く女性、男性を中心に利用者層の拡大を図り、性別による固定的役割分担意識の解消、様々な分野での女性のエンパワーメント、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点も踏まえた生涯を通じた女性の健康支援、市民活動の支援や連携、相談事業等を展開し、市民に学習の場や能力構築の機会等を提供する。

ア 性別による固定的な役割分担意識の解消に関する事業

講演会などを通じ、広く市民に男女共同参画意識を啓発する機会を提供する。男女共同参画社会の実現には男性の理解・協力が不可欠のため、男性の家事への参画を促進する「おとこの魅力アップシリーズ」、「介護男子」、「父と子の食育」など男性を対象とした講座のさらなる充実を図る。また、若い世代への働きかけとして、高校生向けに男女共同参画意識の啓発に関する講座を実施する。

イ 女性のエンパワーメント事業

介護事務、医療事務、パソコンなど、就業に関するスキルの向上を通じ、女性のエンパワーメントや再就職を支援する講座の充実を図る。企業で働く女性のキャリアアップを支援する市の講座の修了生を対象に、フォローアップを図るセミナーの開催やネットワークづくりを支援する。また、学生の卒業後の働き方や自己実現のために開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を活用した出前講座を実施する。さらに、様々な分野での女性リーダーの育成を支援するための講座を開催する。

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業

女性の多様な活動を支えるために、性と生殖に関する正しい理解を促す知識の習得の機会を提供する講座を開催する。また、生涯を通じた心と身体の健康を、日常生活の中で自分の力で維持促進できるよう、知識や技術の習得の機会を提供する。さらに、産前・産後、育児期間の女性が活動しやすい環境づくりを支援し、自分らしく生き生きと過ごすために心身ともにリフレッシュする講座を実施する。

エ ムーブフェスタ

開館以来続くムーブの中核事業である「ムーブフェスタ 2022」については、引き続き市民の自主的な研究発表・実践活動を積極的に支援し、市民による企画事業を中心とした各種イベント等を実施するとともに、市民や市民グループの交流・連携を促進して市民活動の活性化を図る。

(2) 相談事業

男女の心の問題や生き方、性別による人権侵害、夫婦の問題等について、ムーブ相談員・臨床

心理士・弁護士等が、電話や面談、メールで相談を受ける。また、相談から見えてくる課題を踏まえ、法律基礎講座や女性への暴力ゼロ特別講座、啓発事業等を実施する。さらに、福岡県弁護士会北九州部会との共催で、「女性の権利ホットライン（2回/年）」を開設する。

（3） 情報収集・発信事業

ジェンダー問題に関する国内外の図書・資料の充実を図るとともに、市民・研究者を対象に、ジェンダー問題調査・研究支援事業を実施する。

また、ホームページやフェイスブックにより、男女共同参画に関する講座や事業に関する情報提供の充実を図る。情報誌『ムービング』を発行し、男女共同参画に関するさまざまな情報を広い読者層に向けて発信する。

若い世代に向けた令和3年度発行の啓発冊子『未来をひらくあなたに』を教材に高校生向けセミナーを開催する。また、令和4年度はジェンダー平等に関する企業研修用の啓発冊子を作成する。

（4） 管理事業

北九州市立男女共同参画センターの施設・設備について、環境に配慮しながら充実を図るとともに、より円滑な管理運営に努め、安全で快適な施設を提供する。

市民や団体等の自主的な活動の場として、施設の設置条例等に基づき、施設の貸与を行う。

○自主事業

男女共同参画社会の形成と個人の能力向上及び就業支援を目的に、受講料等を徴収し、資格取得・能力向上等を目指す講座や検定試験等を実施する。

【その他事業Ⅰ】 北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外の部分）

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検、修繕などの維持管理を行う。

また、施設の維持管理等に関して、ビルの入居団体との連絡・調整を行う。

【その他事業Ⅱ】 北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行う。

【法人事業】

以上の事業を適正に推進するため、評議員会・理事会の開催をはじめ、法人の管理・運営のための業務を行う。

V 令和4年度予算

収支予算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	1,406,000		1,407,000	2,813,000
受取業収益	290,000	0	290,000	580,000
指定管理施設自主事業費収益	200,000	0	0	200,000
委託料収益	9,473,000			9,473,000
北九州市委託金収益	7,783,000			7,783,000
受取補助金等	216,835,000	44,338,000		261,173,000
雑収益	25,354,000		13,646,000	39,000,000
経常収益計	261,341,000	44,338,000	15,383,000	321,062,000
(2) 経常費用				
事業管理費	261,841,000	44,338,000		306,179,000
経常費用計	261,841,000	44,338,000	15,383,000	15,383,000
当期経常増減額	▲ 500,000	0	0	▲ 500,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0

(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 500,000	0	0	0	▲ 500,000
一般正味財産期首残高	29,055,797		9,811,723		38,867,520
一般正味財産期末残高	28,555,797	0	9,811,723		38,367,520
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,047		323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,047		323,166,095
III 正味財産期末残高	190,138,845	0	171,394,770		361,533,615

VI 役員名簿

令和4年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	堀内光子	公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 理事長
専務理事	小石佐織	北九州市立男女共同参画センター所長
理事	小川健一郎	公益財団法人大阪YMCA代表理事
〃	北野久美	北九州市保育士会会長
〃	田村慶子	北九州市立大学教授
〃	渡邊典子	弁護士
〃	湯浅壘道	明治大学教授
〃	秋月弘子	亜細亜大学教授
監事	藤野啓介	株式会社福岡銀行常務執行役員北九州本部長
〃	山本浩二	北九州市会計室長